

現在小学5年生になる娘ですが、今でも愛隣幼稚園が大好きです。私達保護者にとっても安心して通わせることの出来た大切な場所です。子供には、様々な体験をさせて頂いたたくさんの楽しい遊びの記憶が刻まれています。遊びの中で学び成長した3年間でした。

幼稚園に行くのが楽しいと出かけ、帰宅後は1日の楽しい出来事を話してくれました。子供の止まらない話を聞きながら、この幼稚園に出会えて良かったなと、幸せを感じていました。

たくさんの魅力あふれる中の一つに、たくさんの物作りをします。私は、制作した作品を持ち帰って来るのをいつも楽しみにしていました。身の回りにある空き箱や牛乳パック、包装紙などを利用し、自然の実や落ち葉を用いて、工夫された作品が「タタいてす」。季節を感じ、自由な発想で作られた作品は、どれも温かさを感じます。今でも家の中で使える素材を探しては、夢中で制作をしている姿を見ると、保育生活の中で創造力の豊かさが自然に身についたのではと思っています。

未就園児の時に参加した「あそぼ」では、先生方手作りのお店屋さんごっこ、のり台が並び、細かく刻んだ新聞紙を紙吹雪にして遊び、紙すきなどの体験をしました。既製品でない手作りの遊びに、子供はもちろん私も夢中になりました。参加するごとに、幼稚園の魅力が伝わって来ました。「あそぼ」での体験で、思いきりのびのびと遊べ、愛情たっぷりに子供たちに接して下さる先生方と出会えたこと。娘が、「毎日ここに来たい!」と言ったことで、愛隣幼稚園に入園することを決めました。